

群馬県 戦略企画課 御中

分析レポート

アントレプレナーシップに必要な能力は
何だと思えますか？

PoliPoli Gov

2025年3月28日



意見募集の概要・実施結果

- **実施内容**：群馬県のアントレプレナーシッププログラムに関する意見募集を行った。
- **調査方法**：デジタルツール「PoliPoli Gov」を用いたインターネットリサーチ
- **意見募集のテーマ**
 - アントレプレナーシップに必要な能力は何だと思いますか？
- **調査期間**：2025/02/07～2025/03/02（23日間）
- **調査地域**：全国オンライン
- **ページ閲覧数**：1,746PV
- **総コメントユーザー数**：62人（*ユーザーIDの重複を削除した値より、ユニークユーザー(UU)数を算出）
- **総コメント投稿数**：67件（*コメント公開基準に抵触する非公開コメントを除外した値を算出）
- **回答者の属性（必須回答）**：
 - **年齢**：高校1年生,高校2年生,高校3年生,大学1年生,大学2年生,大学3年生,大学4年生,その他10代,その他20代,30代,40代,50代,60代以上
 - **群馬県の関わり**：群馬に居住・通勤・通学している,過去、群馬に居住・通勤/通学した,観光などで群馬を訪れた,群馬を訪れたことはない
 - **アントレプレナーシップという言葉を知っていますか？**：よく知っている（意味も理解している）,聞いたことはあり、大まかな意味は知っている,聞いたことはあるが、意味は知らない,聞いたことがない

意見募集の仕組み

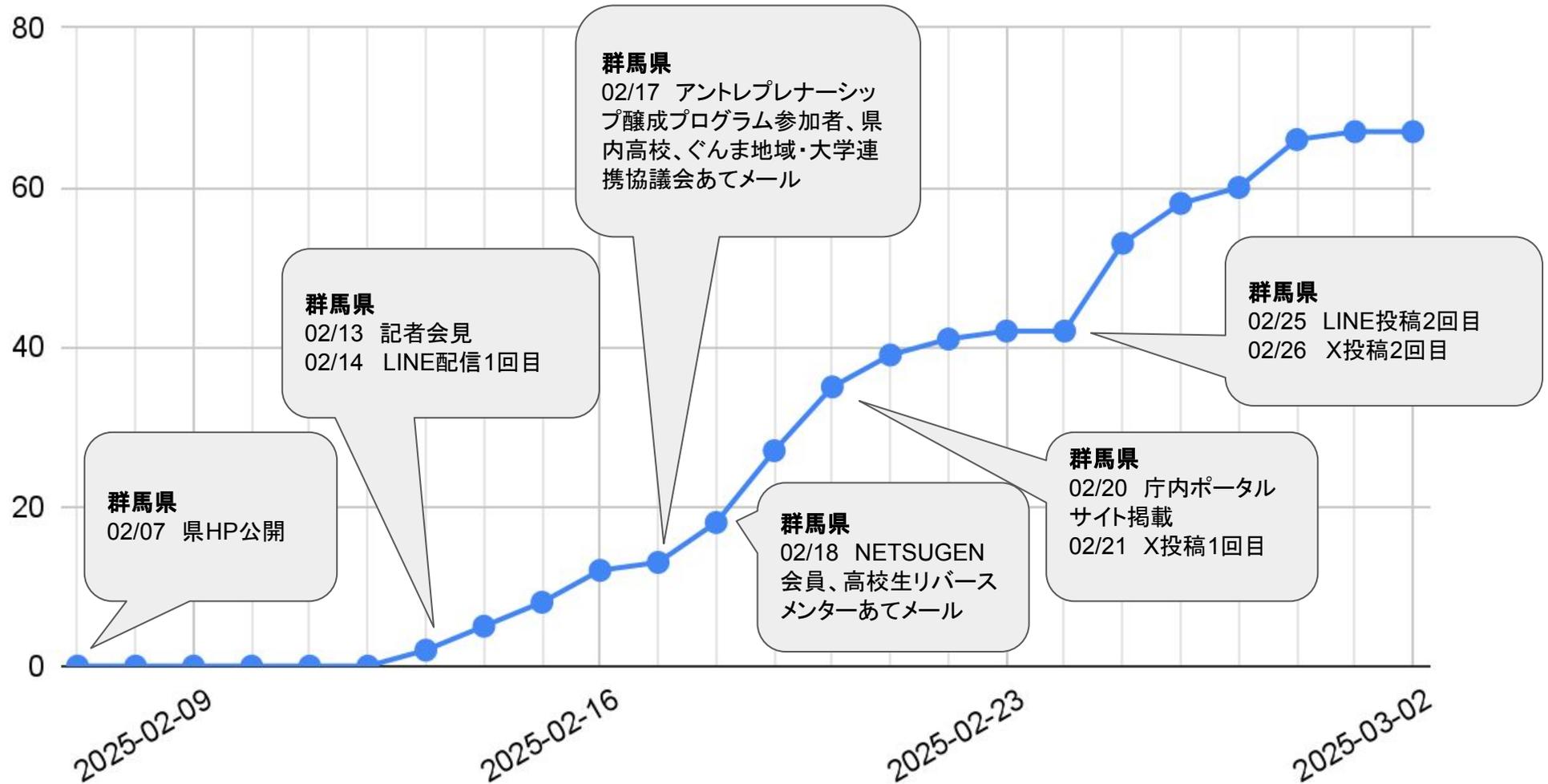


※プラットフォーム内のコミュニティを健全に保つため、投稿されたコメントが攻撃的な内容や広告目的と判断された場合に、運営側でコメントを非公開としています。



意見募集の概要・実施結果 | コメント数の日次推移

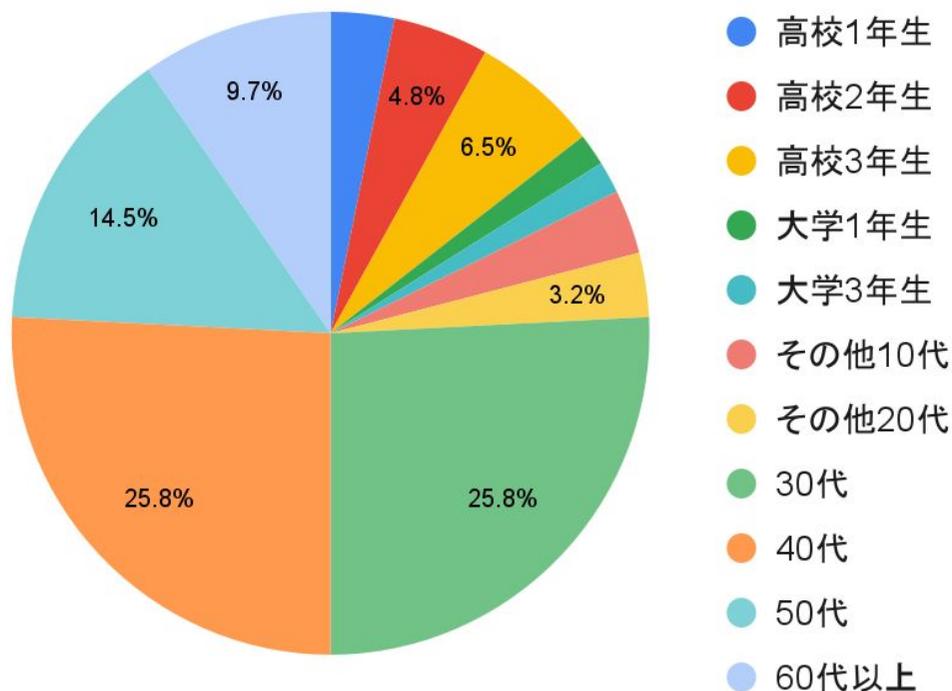
コメント数推移(日次)



意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

- 年代については高校1年生が2名（3.2%）、高校2年生が3名（4.8%）、高校3年生が4名（6.5%）、大学1年生が1名（1.6%）、大学2年生が0名（0%）、大学3年生が1名（1.6%）、大学4年生が0名（0%）、その他10代が2名（3.2%）、その他20代が2名（3.2%）、30代が16名（25.8%）、40代が16名（25.8%）、50代が9名（14.5%）、60代以上が6名（9.7%）となった。

あなたの年代(UU 62人)

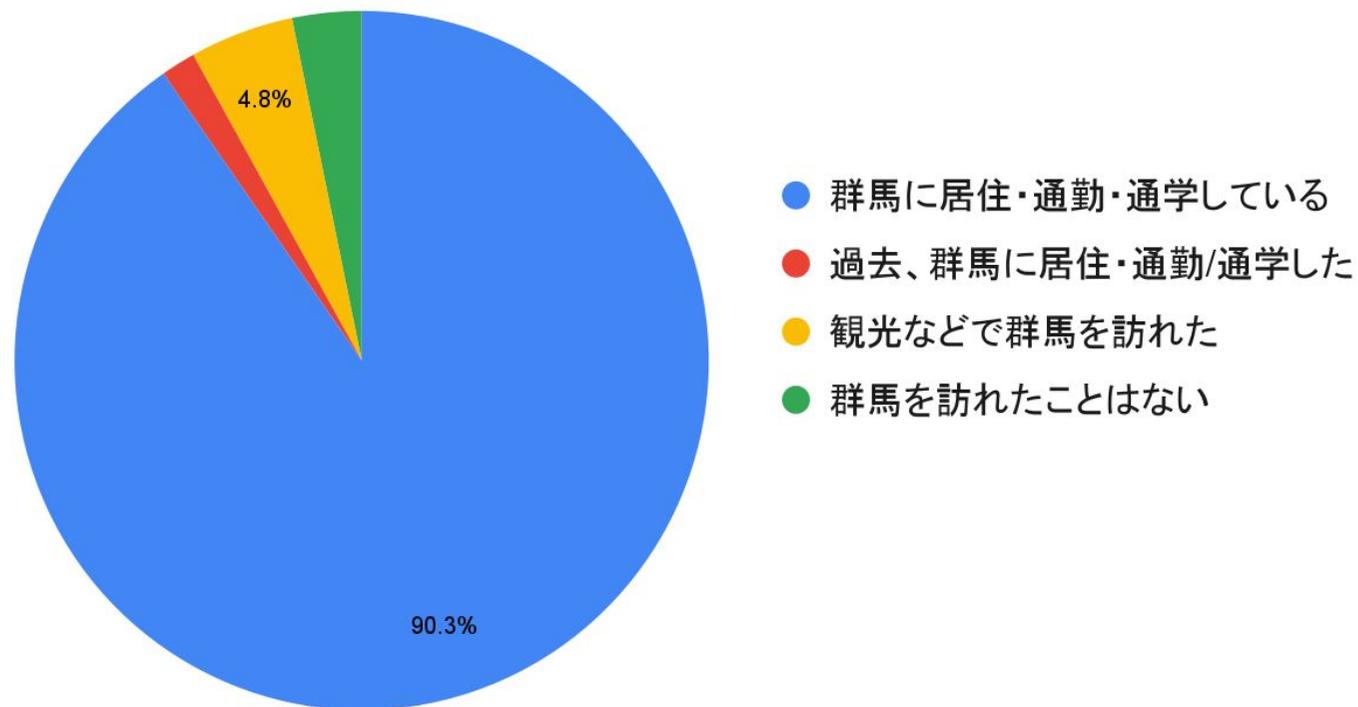


※UU=ユニークユーザー数。複数コメントした場合でも同一ユーザーとしてカウント

意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

- 群馬県の関わりについては、群馬に居住・通勤・通学しているが56名（90.3%）、過去、群馬に居住・通勤/通学したが1名（1.6%）、観光などで群馬を訪れたが3名（4.8%）、群馬を訪れたことはないが2名（3.2%）であった。

あなたと群馬県の関わり(UU 62人)

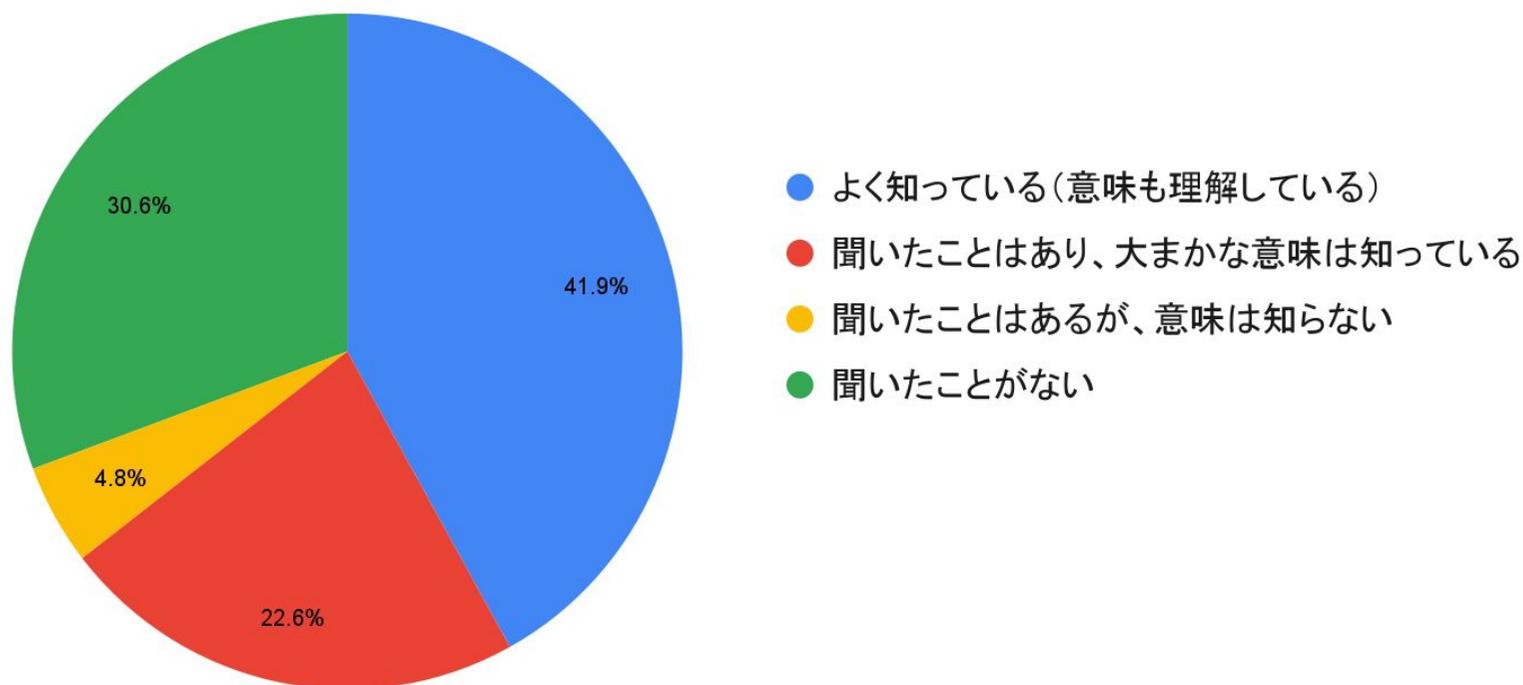


※UU=ユニークユーザー数。複数コメントした場合でも同一ユーザーとしてカウント

意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

- アントレプレナーシップという言葉を知っていますか？については、よく知っている（意味も理解している）が26名（41.9%）、聞いたことはあり、大まかな意味は知っているが14名（22.6%）、聞いたことはあるが、意味は知らないが3名（4.8%）、聞いたことがないが19名（30.6%）であった。

アントレプレナーシップという言葉を知っていますか？（UU 62人）



※UU=ユニークユーザー数。複数コメントした場合でも同一ユーザーとしてカウント

アントレプレナーの認知度

認知度別コメント件数 (n=62件)

アントレプレナーと聞いて思い浮かぶ能力の回答をカテゴリに分けた場合、下記の結果となった。

アントレプレナーと聞いて思い浮かぶ能力

聞いたことはあるが、意味は知らない

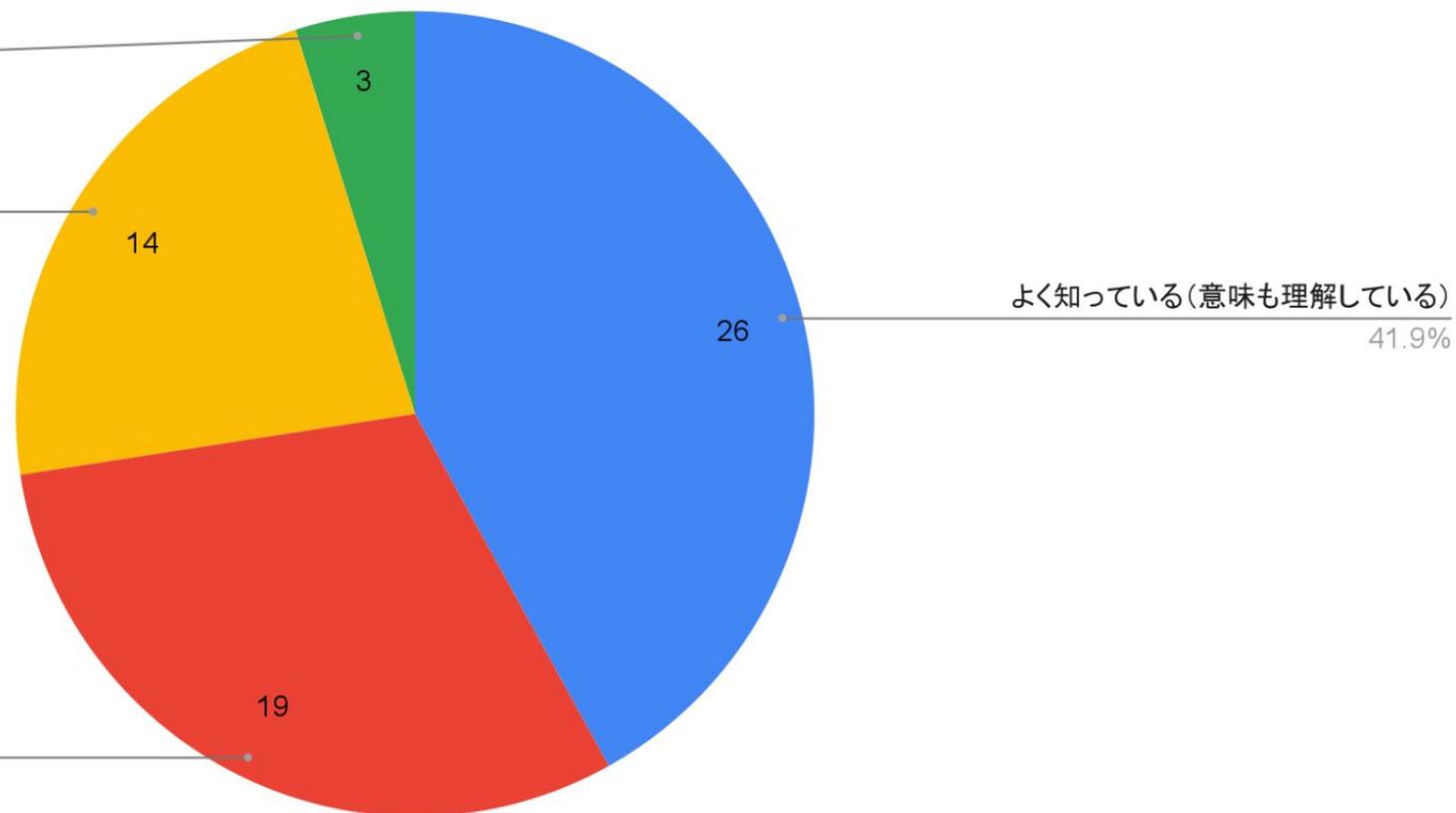
4.8%

聞いたことはあり、大まかな意味は知っている

22.6%

聞いたことがない

30.6%

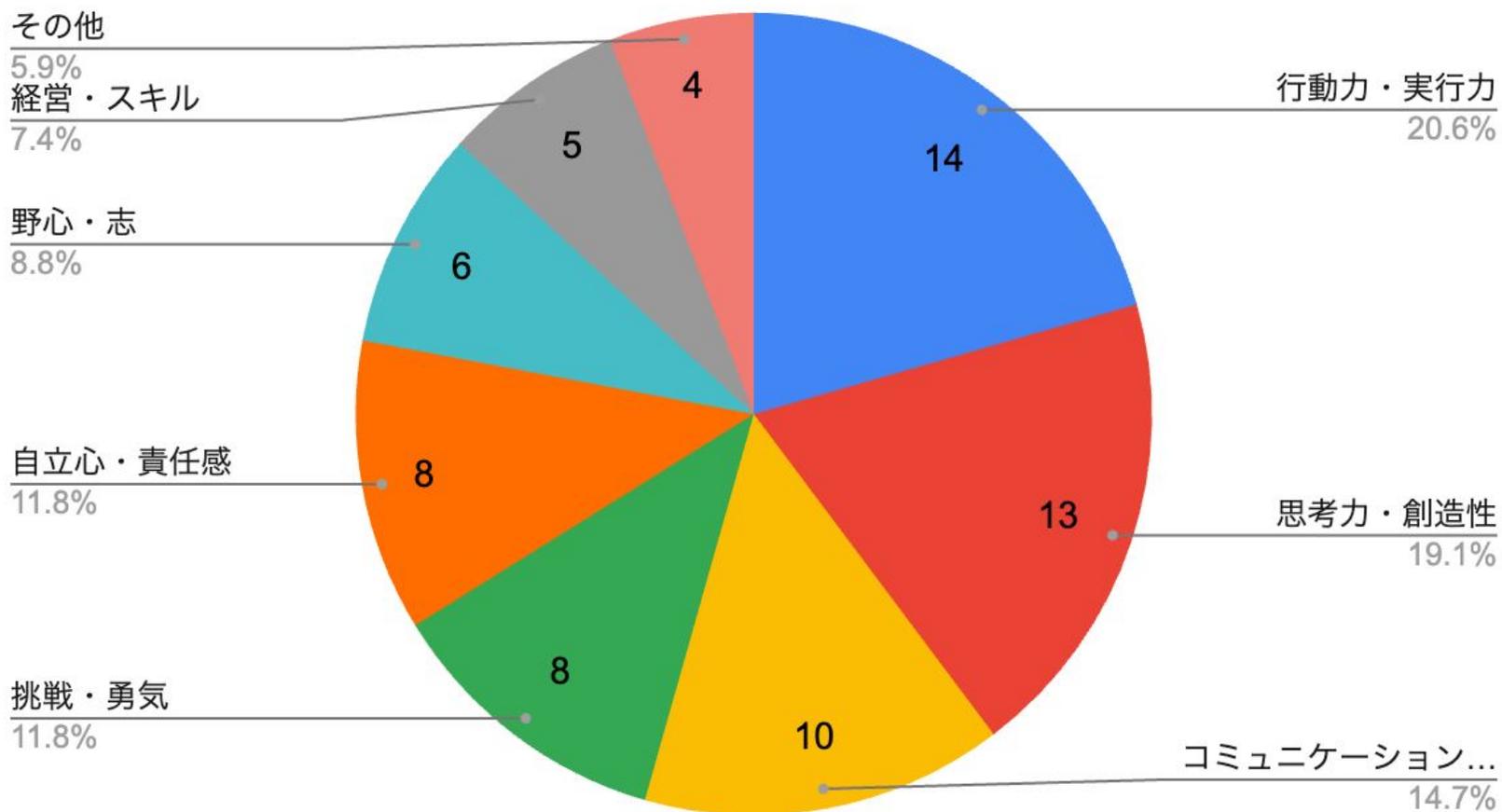


カテゴリごとの分析 | アントレプレナーと聞いて思い浮かぶ能力

カテゴリ別コメント件数 (n=68件)

アントレプレナーと聞いて思い浮かぶ能力の回答をカテゴリに分けた場合、下記の結果となった。

アントレプレナーと聞いて思い浮かぶ能力



カテゴリごとの分析 | 能力を身につけるために参加したい体験プログラム

カテゴリ別コメント件数 (n=65件)

能力を身につけるために参加したい体験プログラムの回答をカテゴリに分けた場合、下記の結果となった。

能力を身につけるために参加したい体験プログラム

ジェンダー対応や地域課題対応型

7.8%

学習・教育

7.8%

成功・失敗からの学び

12.5%

ネットワーキング

12.5%

その他

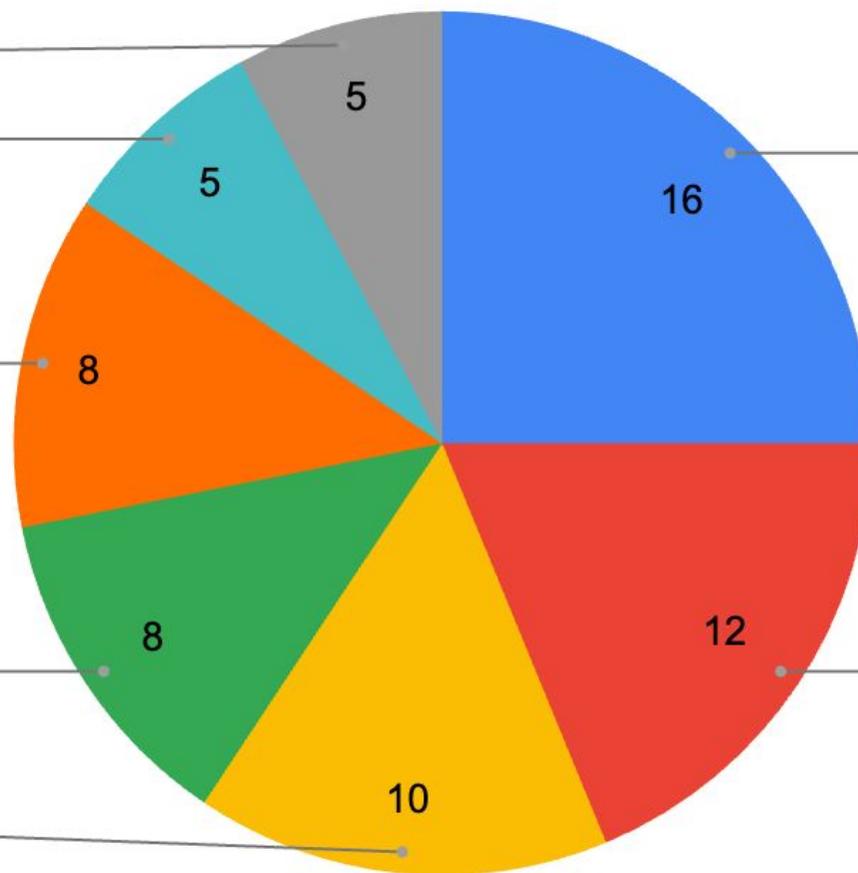
15.6%

ソーシャルビジネス実践プログラム

25.0%

起業・ビジネススキル

18.8%

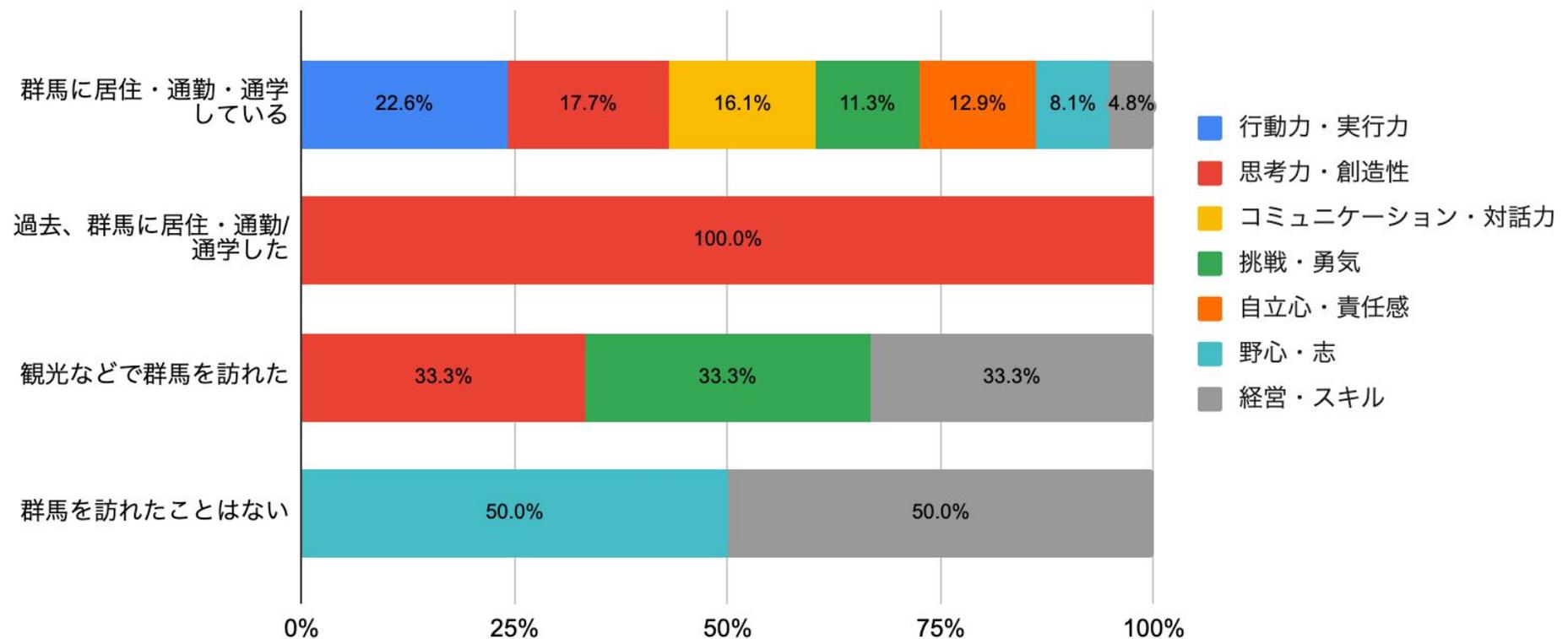


クロス分析と考察

カテゴリごとの分析 | 群馬県との関わり×能力カテゴリのクロス分析

群馬県に居住・通勤・通学しているユーザー（全体の約90%）は、すべての能力カテゴリに万遍なくコメントを投稿しており、地域との日常的な接点がある人々は、多角的な視点を持っていることがうかがえる。一方、観光での接点やあるいは接点がないユーザーは、「経営・スキル」や「思考力・創造性」といった、より一般的で汎用性のある能力に関するコメントに集中している傾向が見られた。

群馬県との関わり×カテゴリ

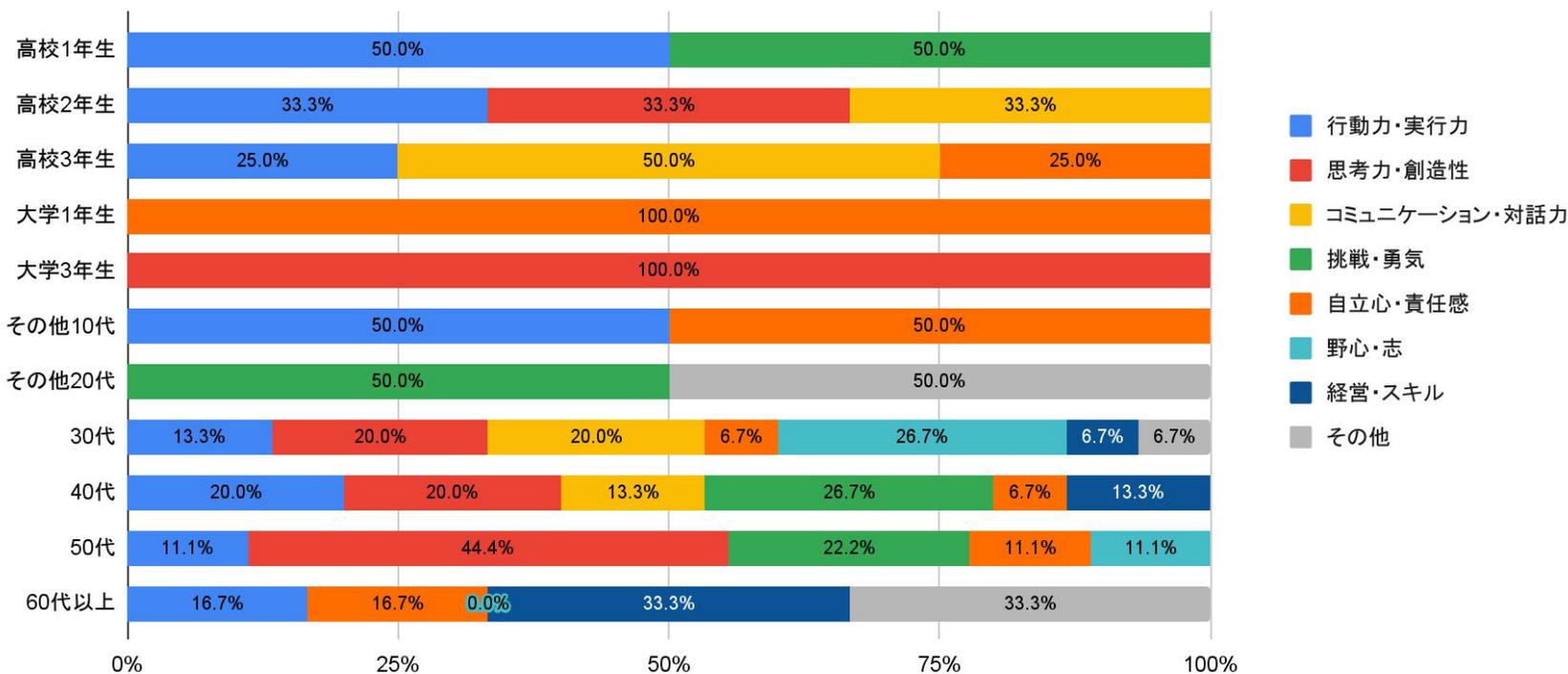


※n=XXXについて
1つのコメントで複数カテゴリ化したものを含む。

カテゴリごとの分析 | 年代×能力カテゴリのクロス分析

若年層（10～20代）は、行動力、思考力、自立心といった、未来志向かつ柔軟性のあるスキルに言及する声が多く見られた。一方、30～40代ではすべての能力カテゴリに万遍なく意見が分布しており、関心の幅が広いことが伺え、現実的で実務的な能力に関して幅が広がった。50代以上は、思考力・創造性、経営・スキルなど一部のカテゴリへの意見が比較的多く、経験や現実的視点に基づいた傾向が確認された。

年代×能力カテゴリ

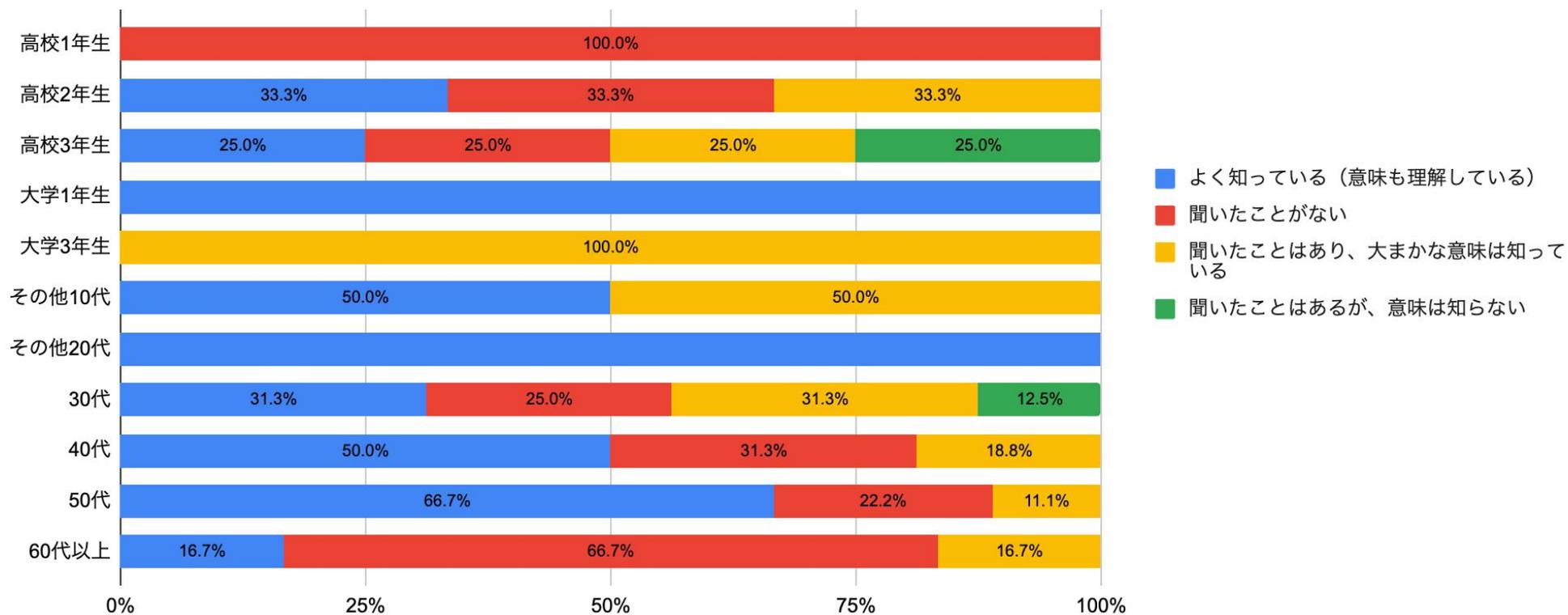


※n=XXXについて
1つのコメントで複数カテゴリ化したものを含む。

カテゴリごとの分析 | 年代×アントレプレナー認知度のクロス分析

年代が上がるにつれてアントレプレナーシップに対する認知度が高まる傾向が見られた。特に30代以降では「よく知っている」「大まかな意味は知っている」と回答する割合が高く、用語への理解が比較的浸透している。一方で、高校生・大学生世代では認知度のばらつきが大きかったが、若年層では「聞いたことがない」「意味は知らない」とする回答割合が増えている。

年代×アントレプレナー認知度

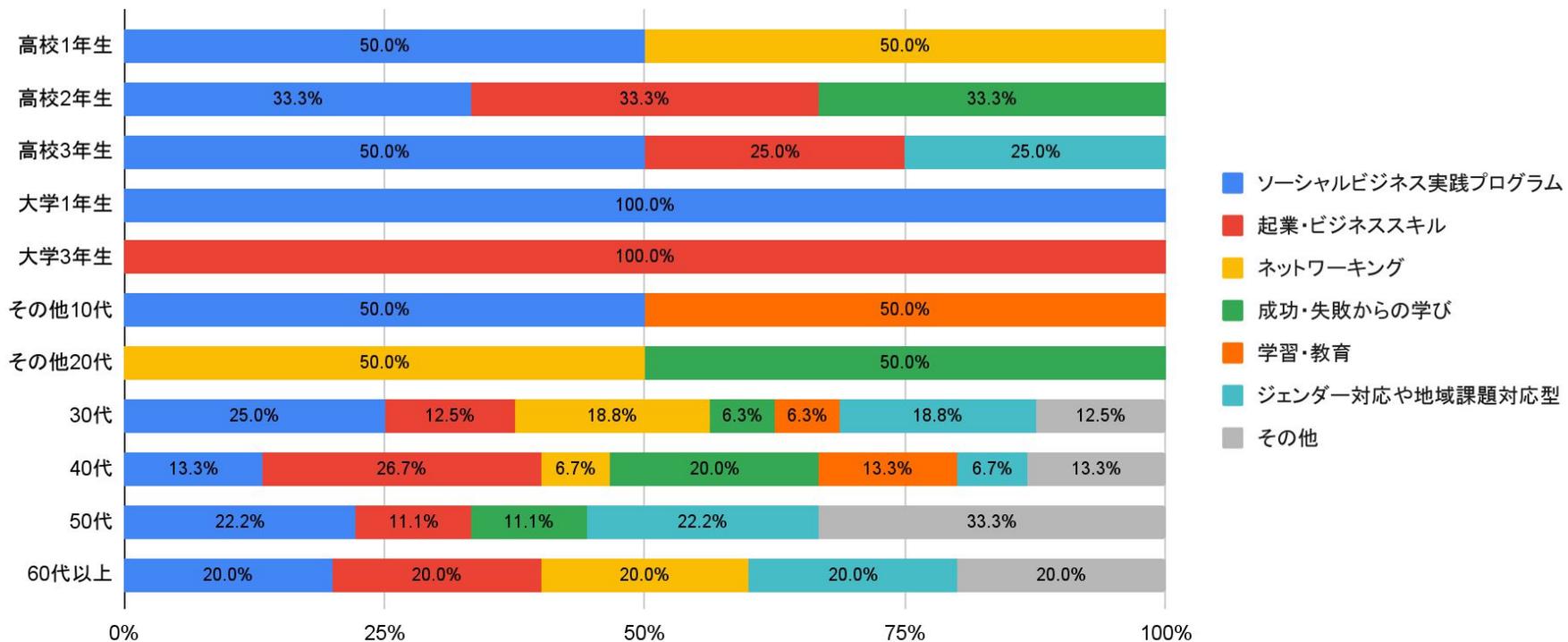


※n=XXXについて
1つのコメントで複数カテゴリ化したものを含む。

カテゴリごとの分析 | 年代×参加したい体験プログラムのクロス分析

10～20代では、「起業・ビジネススキル」や「ソーシャルビジネス実践プログラム」への回答が比較的多く、関心が実践的なカテゴリに集中する傾向が見られた。30～40代になると、「ネットワーキング」「成功・失敗からの学び」など、複数のカテゴリに意見が分散しており、他者との関係性や経験の活用に関する関心が広がっている。50代以上では、回答数は少ないものの、「ジェンダー対応や地域課題対応型」への回答が他の年代に比べて目立ち、地域や社会課題に関連するテーマへの関心が目立った。

年代×参加したい体験プログラムカテゴリ



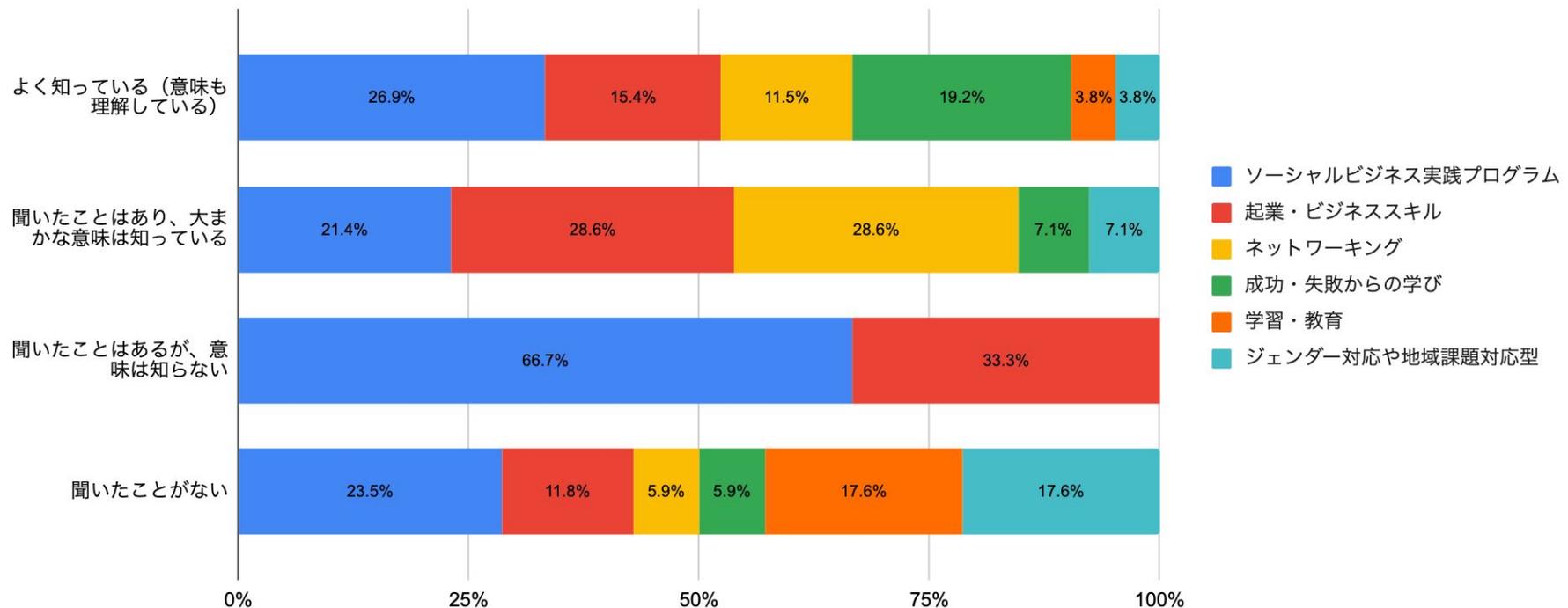
※n=XXXについて
1つのコメントで複数カテゴリ化したものを含む。

カテゴリごとの分析 |

アントレプレナー認知度×参加したい体験プログラムのクロス分析

「よく知っている」「大まかな意味を知っている」と回答した層では、「ソーシャルビジネス実践」や「起業・ビジネススキル」など、より実践的なカテゴリに関心が集中しており、「ネットワーキング」など人脈形成に関するカテゴリへの回答も目立つ。一方で、「意味は知らない」「聞いたことがない」と回答した層では、実践的なカテゴリに加えて、「学習・教育」や「ジェンダー対応・地域課題対応型」といった比較的入口的なカテゴリにも回答が分散しており、初学者的な関心の広がりがうかがえる。

アントレプレナー認知度×体験プログラムカテゴリ



※n=XXXについて
1つのコメントで複数カテゴリ化したものを含む。

全体考察

全体考察と提言

- コメントは年齢、地域との関わり、認知度といった属性において幅広く分布しており、今後のプログラム設計にあたって、各層の特性に応じたアプローチの必要性が示唆された。
- 「起業・ビジネススキル」や「ソーシャルビジネス実践」など、実践的なスキル獲得への関心が特に高かった。年代別で見ると、30～40代を中心に、ビジネスの実務的側面に加えて地域課題の解決に寄与する取り組みへの意欲が強く、今後のスタートアップ支援や人材育成において中核となる層であると考えられる。
- 一方、10代や20代の若年層では、上記のカテゴリに加え「学習・教育」への関心も高く、アントレプレナーシップを自己成長の手段と捉える傾向がうかがえた。これは、起業そのものに限らず、地域や社会と主体的に関わるための入口としてアントレプレナー教育を活用したいというニーズが潜在的に存在することを示している。
- アントレプレナーシップの認知度別に見ると、「よく知っている」「意味は理解している」層では、より実践的なカテゴリに関心が集中しており、すでに基礎を有した層に対しては、実社会との接点を意識したプログラムが有効と考えられる。一方で、「聞いたことがない」「意味は知らない」層では、実践型に加えて導入的なカテゴリへの回答も多く、裾野を広げる施策の重要性も確認された。
- 群馬県との関わりに着目すると、居住・通勤・通学している層の方がすべてのカテゴリにわたって意見を述べており、地域との接点を持つことが、多様な視点を生む背景となっていると推察される。一方で、関わりのない層では意見が限定的であった。
- 以上の結果を踏まえると、アントレプレナー教育や支援プログラムにおいては、「認知度」「年代」「地域との関わり」で参加者の関心やニーズが異なることが示された。今後はこれらの属性に応じた多層的なプログラム設計が求められる。

全体考察と提言

【提言】

- 認知度に応じた段階的プログラムの設計
 - アントレプレナーシップに対する認知度や理解度は人によって様々であるため、「知らない・意味を知らない」層には、地域課題や共感を切り口とした導入的な体験機会を提供することが有効と考える。
 - 一方、「よく知っている・意味を理解している」層に対しては、ビジネススキルやネットワーキングなど、実践的なプログラムを充実させることで、挑戦と成長の場を提供することが有効と考える。
- 年代特性に応じた体験機会の最適化
 - 若者向けの起業家教育という視点に立った場合には、自己表現や社会参画の入口となるような柔軟で親しみやすい設計が求められる。例えば、身近なテーマに基づくチーム型体験や、共感的なストーリーテリングを活用した企画が効果的と考える。

代表的なコメント

代表的なコメント | ソーシャルビジネス実践プログラム

- 自分の能力を使って、誰とどのような良い関係性を築くことができるのか、予測が可能になるデータ分析体験プログラム（群馬を訪れたことはない / 30代）
- 行政のツールを一部活用した、他者が利活用でき、フィードバックを得られるごく小規模な企画（実施後の評価法も含む）を立案・実施し、実施後の評価、それを3年継続する。ベースをあげるなら、多人数が参加しつつ単発にならないプログラムが理想。（群馬に居住・通勤・通学している / 40代）
- 需給ギャップを埋めるケーススタディとレジリエンスのケーススタディ（群馬に居住・通勤・通学している / 40代）
- アントレプレナーシップを身に付けたい人とそれ以外の人を同時に集め、1か月で自分の設定した課題について具体的な解決策を掲示するプログラム（群馬に居住・通勤・通学している / 30代）

代表的なコメント | 起業・ビジネススキル

- ベンチャー企業に勤めていて、そのビルもそういった企業が多いのですが、数年で倒産する企業を目にし、ベンチャー企業は10年後10%しか残らないと聞きます。何度失敗しても経済的にも精神的にも再びトライできるようなレジリエンス（回復・耐久力）や分析力、マネジメント、商品企画などを身につける必要があるのではと思いました。（群馬を訪れたことはない / 30代）
- チャレンジするにあたり、お金の工面で躊躇してしまう人もいるのではないかと。具体的に金銭面のサポートの受け方や、企業からサポートされる様なプレゼンをどの様にしたら良いかなど、体験出来ると次の一歩が出るのではないかと。（群馬に居住・通勤・通学している / 60代以上）
- 事業計画書の作り方や起業家に必要なマインドに関する講義。（群馬に居住・通勤・通学している / 高校2年生）
- チャレンジするにあたり、お金の工面で躊躇してしまう人もいるのではないかと。具体的に金銭面のサポートの受け方や、企業からサポートされる様なプレゼンをどの様にしたら良いかなど、体験出来ると次の一歩が出るのではないかと。（群馬に居住・通勤・通学している / 60代以上）

代表的なコメント | ネットワーキング

- それぞれの専門分野での関係者団体、企業との交流会。（補助金等の提供側と活用を進めたい側のマッチング機会の確保）（群馬に居住・通勤・通学している / 30代）
- 現実味のある研究を行う、またその研究についてのプレゼンを行う体験プログラムに参加したい。ただ一人で研究を進めるのではなく周囲の人と交流をしたり、似ているような研究であれば統合して研究を進めたりできるなど、楽しさを追求できるような研究を行いたい。（群馬に居住・通勤・通学している / 高校1年生）
- 同じ創業者である若手の経営者との交流(ただし、先輩である経営者から偉そうに自慢話ばかり聞かされることや、やりたいビジネスにダメ出しされることがないことが重要)(群馬に居住・通勤・通学している / 30代)

代表的なコメント | 成功・失敗からの学び

- 企業を立ちあげて一度失敗し、再度起業して現在頑張っている起業家の方の下で一定期間修行する。失敗したことのない人の経験は運がよかっただけかもしれないのであまり参考にならない。) (群馬に居住・通勤・通学している / 50代)
- 「しくじり先生」的に事業の失敗エピソードを聞き、改善プランを考えるプログラム。実際の事業に対して、四半期ごとなど定期的に(擬似的に株主の視点で)著名経営者からフィードバックをもらう伴走型のプログラム。(群馬に居住・通勤・通学している / 30代)
- 起業したい分野の業界で働く人の生の話をオフレコで聞ける場。(群馬に居住・通勤・通学している / その他20代)
- もしかしたら、何かに挑戦された方のお話を伺うことでヒントが得られるのかもしれない。(群馬に居住・通勤・通学している / 40代)

代表的なコメント | 学習・教育

- 自分の可能性を伸ばせる「高度な体験」ができるようなもの。(例) 学校の飛び級制度など(群馬に居住・通勤・通学している / その他10代)
- 体験プログラムはわからないが、学生時代から起業に対する価値観、地域社会においてもそれを応援する風土(失敗してもそれを受け入れる寛容さ)を育てていくとより活性化するのではないか。また自治体としても税制優遇や一定の生活支援(給付金というよりは現物給付)があると、30代、40代もチャレンジできるし、チャレンジするなら群馬でみたいな潮流が生まれたりしないか。(もちろん事業拠点、居住は群馬県内で)(群馬に居住・通勤・通学している / 40代)
- 哲学対話(最近学校教育の現場でも用いられているが、そもそもを疑う力や思考力は既存のものをただ受け入れるのではなく、自分や他者はどのように考えているのかを対話を通して気づくことができる)(群馬に居住・通勤・通学している / 30代)

代表的なコメント | ジェンダー対応や地域課題対応型

- 今話題のスタートアップの起業家たちと気軽に話せる機会があれば参加したいです（群馬県出身だとなお身近に感じられて嬉しい）（観光などで群馬を訪れた / 30代）
- 地域の魅力と自然保護の両方が実現でき、将来にプラスとなる寄付もアピールできるプログラム（群馬に居住・通勤・通学している / 高校3年生）
- ぜひ、女性向けのプログラムを群馬に作ってください！東京などと比べると起業家のジェンダーバランスに改善が求められます。ただでさえ、Uターン、Iターン者の大卒の職がなかなか群馬では無く絶望困惑している人々もいるため、やむなく職を求め群馬を離れざるを得ない状況にいる人々にぜひ仕事を！これは県の仕事です。（群馬に居住・通勤・通学している / 40代）
- 地域や団体、企業の抱える問題点に関して、様々な提案やディスカッションを行ない、常識にとらわれない自由な発想を訓練をする体験（群馬に居住・通勤・通学している / 50代）

PoliPoli Gov